

<参考> 個表の見方

【対応レベル】
 ○具体的な取り組みを進める上で念頭に置くべき地震の規模を記載しています。
 ・L2…最大クラスの地震・津波 →命を守る対策（避難場所の整備など）は最大クラスの地震・津波に備えます。
 ・L1…発生頻度の高い一定程度の地震・津波
 →堤防などのハード対策は発生頻度の高い地震・津波に備えます。
 ・共通…レベルに関係なく対応 →避難所運営マニュアルなど地震・津波のレベルに関係なく対策を行うものです。
 ※L2、L1を併記しているものは、両方のレベルに対応した取り組みを行うことを表しています。

【区分】
 ○この取り組みが、自助、共助、公助のどこに効果があるのかを記載しています。
 自助…住宅の耐震化など自らの命を自らで守るもの
 共助…地域での支え合い・助け合いなど
 公助…社会基盤の整備や応急救助機関による救助・救出などの公の取り組み

2-12 家庭や事業所における室内の安全対策の促進

【対策概要】

| 目的 | (No.) | 県の具体的な取り組みの概要 | 対応レベル | 区分 | 関連する計画 | 実施主体 | 担当課名 |
|------------------------------------------------------------|-------|------------------------------------------------|-------|----|--------|-------|---------|
| 地震の揺れによる建物内での死傷者を減らし、迅速な避難行動を可能とするため、家具転倒防止などの室内安全対策を進めます。 | ① | 家具転倒防止対策についての啓発と、高齢者世帯などへの設置費の補助を行い、安全対策を進めます。 | 共通 | 自助 | — | 県民事業者 | 南海地震対策課 |

【関連する計画】
 ○本行動計画以外に関連する計画がある場合に記載しています。
 津波避難計画、高知県災害時医療救護計画など

【実施主体】
 ○取り組みを実施する機関等を記載しています。

【対策スケジュール】

| (No.) | 取り組み内容 (計画期間の目標) | これまでの実績 | 計画スケジュール | | | 目標の達成によって得られる効果(アウトカム) |
|-------|--------------------------|-------------------------|---------------------------------|----------|----------|------------------------|
| | | | H25年度 | H26年度 | H27年度 | |
| ① | 室内の安全対策の推進 (対策実施率60%) | 対策実施率20% (H24県民世帯調査) | 対策実施率30% | 対策実施率45% | 対策実施率60% | 地震による死傷者の減少 |
| | | | 室内安全対策の必要性や効果の啓発活動(ホームセンター等と連携) | | | 取り組みの継続 |
| | | | 福祉部署と連携した対策実施困難者への支援 | | | |

【取り組み内容】
 ○取り組みの項目と、カッコ内には平成27年度までの目標を記載しています。

【これまでの実績】
 ○これまでの取り組みに実績について記載しています。

【計画スケジュール】
 ○年度ごとの目標と取り組み内容を記載しています。